

令和2年度

## 経営発達支援事業報告書

### 景気動向調査

第3四半期 [10月～12月]

#### 業種別DIによる景気判断

##### <長野県内>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
北 信	↑	改善	↑	改善	↑	改善	↑	改善

全体的に前期よりは多少改善している。

建設業関連は河川関連の公共工事もあり多少改善している。

サービス業（宿泊）に関してはGoToトラベルのおかげで改善している。

##### <全国>

	製造業		建設業		卸小売業		サービス業	
全 国	↑	改善	↑	改善	→	不変	↓	悪化

産業全体： GoToキャンペーンやプレミアム商品券などの景気刺激策により回復基調にあるが、先行き不透明でありコロナ前の水準にはほど遠い。

製造業： 食料品関連では巣ごもり需要により堅調であるが、機械・金属関連では国内外の需要停滞等により厳しい状況におかれている。

建設業： 公共工事並びに災害の復旧工事などが好調であり好転している。また、感染症対策空調工事などの関連事業などが好調。

小売業： 食料品などは巣ごもり需要などで回復基調であるが、例年に比べると厳しい状況にある。

サービス業： GoToキャンペーンなどの効果により宿泊客や予約が増加したが、11月からの感染拡大に伴い予約キャンセルが相次ぎ悪化。

##### <参考資料>

・全国商工会連合会「小規模企業景気動向調査」・関東財務局「最近の県内経済情勢」・長野県産業労働部「景気動向調査」・長野経済研究所「最近の長野県経済の動向」・日本政策金融公庫「景気動向調査」・長野信用金庫「景気調査レポート」